

# 9人の写真家が見た水俣

桑原史成

塩田武史

宮本成美

アイリーン M. スミス

石川武志

北岡秀郎

小柴一良

芥川 仁

田中史子

会場：丸の内フォトギャラリー

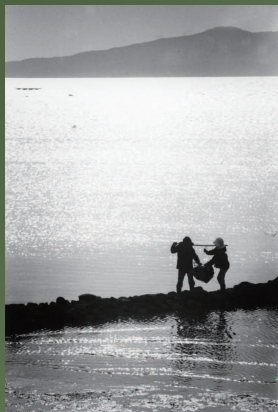
会期：2022年7月4日(月)～30日(土)

会場：アートスペース丸の内

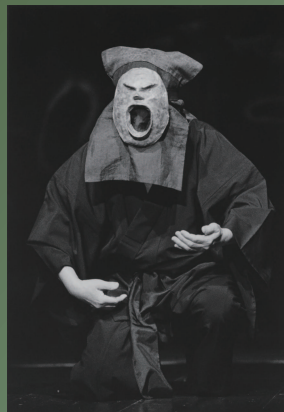
主催：(一社)水俣・写真家の眼



©Shisei Kuwabara



©Takeshi Shiota



©Shigemi Miyamoto



Photo by Aileen M Smith

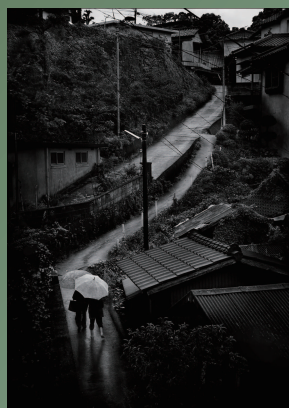
©Aileen Mioko Smith



©Takeshi Ishikawa



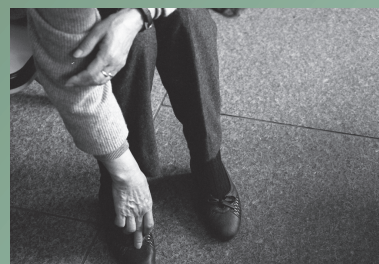
©Hideo Kitaoka



©Kazuyoshi Koshiba



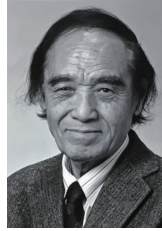
©Jin Akutagawa



「靴の上から足をもむ」

©Fumiko Tanaka

水俣病に長く係わりを持つ9人の写真家が「水俣・写真家の眼プロジェクト」を立ち上げ60年に渡り撮影した20万点を超えるカットの保存と活用を目的に2022年4月法人を設立。その出発点として企画した写真展です。



桑原史成 Shisei Kuwabara

1936年、島根県津和野町に生まれる。60年7月から水俣病の撮影を開始。郷里の笹ヶ谷鉱山の砒素鉱毒と重ね合わせた。主な撮影テーマは水俣病のほか、筑豊炭田、激動の韓国、沖縄、ベトナム戦争、北朝鮮、アフガニスタン、カンボジア、旧ソビエト連邦の崩壊など。



塩田武史 Takeshi Shiota

1945年、香川県高松市に生まれる。70年、水俣に移住。72年、第一回国連人間環境会議・ストックホルムを水俣病患者とともに訪問。75年、カナダの原住民居留地を水俣病患者とともに訪問・取材。85年、熊本に移住。2014年9月死去。



宮本成美 Shigemi Miyamoto

1947年、東京都に生まれる。70年、業界紙の仕事で、厚生省水俣病補償処理委員会への抗議の現場を取材したのが水俣病との出会い。以後、巡礼、一株運動、劇「苦海浄土」、自主交渉、砂田明、不知火海学術調査団、緒方正人、東京水俣展を取材・記録。



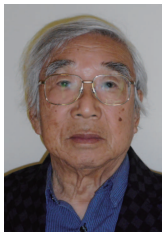
アイリーン M. スミス Aileen M. Smith

1971年から水俣病取材のため、水俣に3年間住む。75年、写真集「MINAMATA」の英語版をユージン・スミス氏と出版。現在、脱原発、日本の原子力政策、プルトニウム利用問題などに取り組む市民グループ「グリーン・アクション」代表。京都在住。



石川武志 Takeshi Ishikawa

1950年、愛媛県に生まれる。71年、ユージン・スミス氏と出会う。アシスタントに勤められ、水俣の撮影を始める。78年、アジアの祭りや民俗を取材。82年、インドのトランスジェンダー社会「ヒジュラ」の取材を開始。2008年、水俣の取材を再開。



北岡秀郎 Hideo Kitaoka

1943年、熊本市に生まれる。弁護士事務所の仕事を通じて水俣病原告の本人尋問に接し、記録の必要を感じ撮影を開始。2016年より「月刊ミナマタ」発行を開始。ハンセン病、川辺川ダム問題にも接し撮影、発信。現在は編集著述業。福岡県大牟田市に在住。



小柴一良 Kazuyoshi Koshiba

1948年、大阪府に生まれる。72年、西川孟写真事務所に撮影助手として入所。土門拳氏の「古寺巡礼 1 大和編」「女人高野室生寺」などの撮影助手を務める。74年から水俣・出水の水俣病取材を開始。2018年、福島を取材・撮影した展覧会を開催。



芥川 仁 Jin Akutagawa

1947年、愛媛に生まれる。夜間中学、三里塚闘争、土呂久鉱毒事件を取材。78年に水俣病事件の被害者と出会い、同年12月に水俣へ。約1年半の間、水俣病センター相思社の職員として患者の畑仕事などを手伝いつつ水俣病事件を取材。宮崎市在住。



田中史子 Fumiko Tanaka

1941年、長野県に生まれる。87年に行われた大規模な現地調査（1000人以上の水俣病患者が確認された）をきっかけに「患者が1000人いるなら100人の取材をしよう」「とにかく手足のしびれを撮らなくては」と思い、同年から水俣での撮影を開始。

写真展に関するお問い合わせ先：

一般社団法人水俣・写真家の眼事務局・TEL 0966-83-7181・Email:9project1212@gmail.com

丸の内フォトギャラリー

東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 2階回廊  
平日 8:00 ~ 20:00 / 土曜 8:00 ~ 17:00 / 日祝休

9人の写真家が見た水俣

会期：2022年7月4日(月)～30日(土)

会場連絡先：03-6273-4125 / 090-1035-3382 (担当：堀江)

※会場へは三菱一号館側のエレベーターをご利用ください  
日曜祝日の観覧方法についてはお問い合わせください

同時開催 桑原史成写真展「水俣病 60年の記録」

会場：アートスペース丸の内 (新東京ビル1階)

